

# 神奈川県ビリヤード協会 -理事会 議事録-

2026.3.4 12:00～ 14:30 Zoom 会議

参加者：安藤・田口・板橋・石井・杉万



| 1

議論内容：

1. 藤沢総合高校の学校支援 アンケート結果／分析
2. KBA 加盟店舗および正会員へのアンケート結果の報告
3. 店舗加盟案件に関する報告
4. 村岡市民センターへのビリヤード台寄贈の可否

※崎村氏は「村岡市民センターへのビリヤード台寄贈案件」について石井氏へ委任

## 議題 1 藤沢総合高校の学校支援 アンケート結果／分析（説明：石井）

### 背景説明

藤沢総合高校において実施したビリヤード授業について、授業終了後に実施したアンケート結果および事業の整理・反省について報告が行われた。

今回の理事会では学校教育連携型ビリヤード普及事業「アンケート結果と分析」「授業支援 整理と反省」の2つの資料を基に説明が行われた。

資料の全内容を詳細に説明すると時間を要するため、今回は主に総評および今後の課題について説明を行う旨が共有された。

### アンケート結果の概要（石井）

アンケート結果では「すべての回答が満足以上」「不満回答はなし」という結果であった。

また「ビリヤード場へ行ってみたいか」という質問に対して約92%の生徒が関心を示したという結果となった。

さらに授業終了後の実際の行動として藤沢総合高校の生徒12名のうち4名が実際にビリヤード場へ来店していることが確認された。「学校授業としては成功」「しかし地域普及モデルとしては改善余地あり」という評価を示した。

### 人的リソースの課題（石井）

授業では「授業進行管理」「写真撮影」「生徒指導」「得点管理」などを同時に行う必要があり、複数のスタッフが必要な体制となっている。

今回の藤沢総合高校のケースは「ビリヤード台設置」「学校授業」の両方が初めての事例であったため、手厚いサポート体制で実施された。

しかし今後、教育委員会などを通じて他校への導入が広がった場合、同様の体制を維持することが現実的に可能かという課題があると説明された。

また授業対応スタッフが固定化している点も課題として説明された。

### **生徒来店率の評価（板橋）**

板橋氏より12人中4人がビリヤード場へ来店したという結果について、約3分の1という割合はむしろ良い結果ではないかとの意見が示された。

当初の感覚では1~2人程度ではないかという想定であり、3割という結果は想定以上である可能性があるとの見解が示された。

### **成功基準の整理（石井）**

今回の事業では成功基準が明文化されていない点が指摘された。

例えば「生徒が楽しめれば成功」「ビリヤード場来店率」「継続プレイヤーの発生」など、評価指標を整理しておくことで今後の判断がしやすくなるとの意見が示された。

### **メディア掲載の議論（安藤）**

神奈川新聞社については松本氏を通じて連絡があったが、「取材は確約ではない」「自主資料を送れば検討可能」という回答であった。

⇒（板橋）

ビリヤード専門媒体よりも「市町村広報」「地域広報誌」など、未経験者に届く媒体の方が普及効果は高い可能性があるとの意見が示された。

### **On the Hill 掲載の議論（石井）（板橋）**

On the Hill はビリヤード経験者が主に閲覧する媒体であり、普及目的としては効果が限定的ではないかとの見解が示された。

⇒（安藤）

一方で年間契約（約2万円）で「大会情報」「協会活動」などを掲載できる可能性があり、業界内情報共有としては価値があるとの意見が示された。

### **課外授業案（板橋）**

授業後の普及導線としてビリヤード場での課外授業を実施する案が提案された。

例）「有志体験会」「店舗練習会」など。

生徒が店舗環境や一般プレイヤーのレベルを体験することで定着が期待できるとの意見が示された。

## 事業費の整理方法（板橋）

事業報告では「事業総額」「BCJ 負担」「NBA 補助」「協会負担」など、全体の資金構造を示すべきとの意見が示された。

## 議論の整理

藤沢総合高校の授業については「生徒満足度」「ビリヤード場来店率」の両面から概ね成功と評価できるという認識が共有された。

一方で「人的リソース」「普及導線」「成功基準」については今後整理が必要との意見が示された。

## 結論

- ・藤沢総合高校の授業は成功と評価する。
- ・今後は「普及導線の強化」「成功基準の整理」を検討していく。

## タスク

- ・授業運営モデルを整理（石井）
- ・「簡略化モデル」を検討（石井）
- ・成功指標の定義（例）満足度 来店率 継続参加 など（石井）
- ・授業後の店舗来店のための導線設計（石井）
- ・on the hill に年間契約で掲載できるのか確認する（安藤）  
（掲載費用 掲載回数 掲載ページ数 毎月掲載可能か）
- ・神奈川新聞へ資料の送付を検討・掲載の可能性を確認（安藤）
- ・他支部の公益活動について NBA 総会で調査してみる（板橋）  
（各支部の公益事業 予算 実施内容 活動回数 など）

## 議題 2 KBA 加盟店舗および正会員へのアンケート結果の報告（説明：石井）

### 背景説明

KBA 加盟店舗および正会員に対し Google フォームを使用したアンケートを実施した。その結果について報告が行われた。

### 情報公開の課題（石井）

アンケートでは「KBA が何をしているのか分からない」という意見があった。現在「Facebook」「ホームページ」で情報発信はしているが、会員が見ていない可能性があるとの説明があった。

そのため紙媒体による活動報告を検討する案が示された。

⇒板橋

郵送資料は「情報を取りに行く必要がない」「自然に目に入る」ため、情報伝達として有効ではないかとの意見が示された。頻度は半年に 1 回程度が現実的との意見があった。

## タスク

・半年毎に紙媒体による活動報告を加盟店舗に郵送する（石井）

### ポイントランキング制度（石井）

アンケート結果から復活を望む意見も見られた。

これについてポイントランキング制度は過去に実施していたが、「大会結果の集計作業」「管理負担」などの理由により、現在は実施していないとの説明があった。

⇒石井 杉万

アンケートではポイントランキング制度復活の要望があった。「集計負担」「管理コスト」の問題から、現状では優先順位は高くないとの説明があった。

⇒板橋

協会のリソースは、既存プレイヤーへの満足度向上よりも普及活動へ使った方が良いとの説明があった。

ただし、将来的に個人会員制度を整備する場合には、「プレイヤー向けサービス」「モチベーション向上」といった観点から、ポイントランキング制度のような仕組みを検討する可能性もあるとの意見が示された。

### ステッカーの議論（石井）

加盟店舗を示すステッカーを協会が作成してほしいという要望があった。

⇒板橋

協会配布ではなく「デザイン公開」「任意制作」でよいのではないかとの意見が示された。

### CS カード制度および個人会員制度に関する議論（板橋）

#### 背景

CS カード制度に関する協会としての考え方について意見交換が行われた。

現在の CS カード制度については、NBA が中心となって運用している制度であり、主に大会参加資格の確認やプレイヤー登録を目的として導入されているものである。

しかし、近年では CS カード制度の位置付けや役割について様々な意見が出ており、協会としても今後どのように関わっていくべきかについて整理する必要があるのではないかという問題提起が行われた。

#### CS カード制度に対する意見（板橋）

CS カードは本来、プレイヤーの登録制度として導入されたものであるが、現在では「プレイヤーが費用を負担する仕組み」「協会との関係が分かりにくい制度」となっている部分があり、他のスポーツ団体の会員制度と比較するとやや特殊な仕組みになっているのではないかという指摘があった。

例えば剣道などの競技では、「個人は道場やクラブに所属する」「道場が連盟に登録を行う」という形になっており、個人が直接連盟に登録する形は一般的ではないという説明があった。

そのため、ビリヤードにおいても将来的には「プレイヤー＝個人会員」「店舗＝賛助会員」といった形で、組織として分かりやすい会員制度を検討することも必要ではないかという意見が示された。

### 個人会員制度のあり方について（板橋）

これに関連して、協会としての個人会員制度のあり方についても意見交換が行われた。

現在の神奈川県ビリヤード協会では、「加盟店舗」「個人正会員」という区分があるが、プレイヤーの多くは CS カードという形で登録されており、協会との直接的な関係が見えにくいという状況もある。

そのため、「協会としてプレイヤーをどのように位置付けるのか」「店舗との関係をどのように整理するのか」という点について、将来的に検討する必要があるのではないかという意見が出された。

### CS カード制度と協会の関係（板橋）

CS カード制度は NBA の制度であり、県協会が直接運営しているものではないが、大会参加資格やプレイヤー登録の関係で、県協会の活動とも密接に関係している。そのため、「CS カード制度の動向」「NBA の方針」については、今後も情報共有を行いながら、協会としての対応を考えていく必要があるとの認識が共有された。

### 議題 3 店舗加盟案件に関する報告（説明：安藤）

#### 背景説明

加盟に関する経緯について報告が行われた。

今回の BC ペアバトルイベントへの参加をきっかけとして加盟の相談があり、協会としても加盟の方向で話を進めていたが、加盟に関する費用や手続きの整理に時間を要したため、結果として加盟手続きが大会直前となる形になった。

また今回の案件では、「大会参加の話が先行して進んだこと」「加盟手続きの整理が後から行われたこと」などにより、加盟のタイミングや手続きについて一部整理が十分でない部分があったとの説明があった。

加盟を希望する店舗があること自体は協会として歓迎すべきことであるが、加盟の進め方については今後整理が必要であるとの認識が示された。

#### ⇒石井

加盟手続きの進め方についての議論では、「加盟の意思確認」「年会費の説明」「理事会での承認」といった手続きが短期間の中で進められた。

そのため、加盟手続きの標準的な流れについて、理事会として一定の整理をしておく必要があるのではないかという意見が出された。

特に、「加盟相談」「加盟申請」「理事会承認」「加盟確定」という手順を明確にしておくことで、今後同様の案件があった場合にも混乱なく対応できるのではないかという認識が共有された。

#### ⇒板橋

大会参加との関係について、大会参加の話が先に進み、その後加盟の手続きが行われたため、「加盟前の店舗が大会に参加する場合の扱い」について整理が必要ではないかという意見が出された。

⇒板橋

理事全員に情報配信しなければならない案件において、事務局だけに情報提供をすると理事と事務局で情報偏差が生じてしまう。既存の理事メーリングリストをメンテナンスして再活用したほうが情報共有はスムーズになるのではないかという意見が出された。

## タスク

ホームページの入会案内に理事会の承認には1ヵ月以上かかる場合があるという文言を追加する（石井）  
既存の理事メーリングリストをメンテナンスする（石井）

## 議題4 村岡市民センターへのビリヤード台寄贈（説明：石井）

### 背景説明

村岡市民センターへのビリヤード台寄贈に関する現在の状況について説明が行われた。

村岡市民センターでは、地域住民が利用できる新たな活動スペースの整備を検討しており、その中でビリヤード台の設置について相談があった。

本件は、神奈川県ビリヤード協会として「ビリヤードの普及活動」「地域コミュニティとの連携」という観点から、支援の可能性について検討しているものである。

現在、ビリヤード台の提供については、ビリヤード業界関係者からの協力も含めて検討が進められており、見積の内容についても確認が行われている。

### 協会としての関わり方

本件については、「ビリヤード台の設置」「地域住民への普及」という観点から、協会として一定の支援を行うことが想定されている。

ただし、ビリヤード台を設置するだけでは継続的な利用につながらない可能性もあるため、「利用方法の説明」「初心者向け指導」「ルール説明」など、運用面でのサポートについても検討する必要があるとの意見が出された。

また、今後市民センター側から「ビリヤード教室」「体験会」などの依頼がある可能性もあり、その場合の協会の関わり方についても整理が必要であるとの指摘があった。

### 維持管理に関する課題

ビリヤード台を設置する場合、「消耗品」「メンテナンス」「利用ルール」などの管理体制をどのようにするかという点も課題として挙げられた。

特に、「ラシャ交換」「ボールやキューの管理」「利用者マナー」などについては、一定のルールを定めておく必要がある。

これらの点については、市民センター側と協議しながら、現実的な運用方法を検討していく必要があるとの意見が示された。

### 事業としての位置付け（板橋）

本件については単なる機材提供ではなく、普及事業としての位置付けを整理しておくことが重要であるとの意見が述べられた。

例えば、「設置費用」「台の提供」「協会の人的支援」などを含めて、事業としての全体像を整理しておくことで、今後同様の案件が発生した場合にも参考になるのではないかと指摘があった。

また、事業報告を行う際にも「事業総額」「協力団体」「協会の関与内容」などを明確にしておくことが望ましいとの意見が示された。

### **KBA としての考え方**

今回の案件については、KBA 単独での実施ではなく、NBA の助成制度を活用することを前提として進める。そのため、現時点では「ビリヤード台の設置を確定したものではなく」「助成金申請の結果を踏まえて最終判断を行う」という段階であることが共有された。

### **タスク**

NBA に助成金申請を行う（石井）

### **結論**

NBA 助成金申請の結果を確認したうえで、村岡市民センターへのビリヤード台設置を進めるか判断する

以上

